

研究内容の説明文

献血者説明用課題名 (括弧内は公募申請課題名)	血液が固まりにくい素材の開発 (先進医療機器のための抗血栓材料の開発)
研究開発期間 (西暦)	2025年4月～2030年3月
研究機関名	三菱ケミカル株式会社
研究責任者職氏名	SMBG アドバンスドフィルムズ&ポリマーズ統括本部 R&D 本部 パフォーマンスポリマーズテクノロジーセンター 長 広田 保史

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等^{※2}

治療や診断を行う医療機器は人工物から作られているため、血液などは接触した際に異物と認識して血液凝固などの異物反応を起こしたりします。医療機器に使用される材料の材料を血液が固まりにくい素材の開発を目指します。ヒト全血を使用して開発材料の評価を行うことで血栓等の異物反応による医療リスクを低減できる医療用素材開発を行います。本素材を使用した医療機器の普及により、より安全安心な医療の提供へ結びつけることが可能となります。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）、検査残余血液（全血）

献血血液等の情報：なし（ただし、個人を特定できる情報は切り離す）

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

九州大学先導物質化学研究所 田中 賢 教授

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 献血血液の利用を開始する予定日

2025年6月1日以降

5 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》^{※2}

三菱ケミカル株式会社が新規に開発した材料（樹脂チューブ、コーティング、イオン交換樹脂等）に、血液（全血もしくは全血より分画した成分）を接触させ、素材に付着した血液成分（血小板など）の数や形態を調べたり、血栓が生じるかどうかを確認します。様々な形状で試験を行うことで、従来より血液が固まりにくい素材また物品の開発を行います。血液試験の実施は共同研究先機関である九州大学で実施を予定しています。

6 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

7 上記 6 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

※2：文章は、献血者にわかりやすい表現で作成してください。

受付番号

R070043

研究に関する問い合わせ先

所属	三菱ケミカル株式会社 SMBG アドバンスドフィルムズ&ポリマーズ統括本部 パフォーマンスポリマーズ（日本）事業部 新規マーケット開発グループ
担当者	佐伯 裕美子
電話	070-4089-4780
Mail	yumiko.saeki.mu@mcgc.com